

富山ろうさい病院理念 私たちは、働く人々・地域の皆さまに信頼され、愛される病院を目指します。

「チーム医療の大切さ」

薬剤部 部長

はまの こうじ
濱野 晃至

もうすぐ、東京オリンピック、パラリンピックがやってきます。札幌出身の私にとって1972年の札幌オリンピック以来、おそらく「生きているうちに日本で開催される唯一のオリンピック」だと楽しみにしています。

東京オリンピック、パラリンピック招致で有名になった言葉「お・も・て・な・し」！「もてなす」の語源は、「表裏なし」とか「モノを持って成し遂げる」とか言われています。どちらにしても、誠心誠意相手に尽くすことでしょうか！？

英語で病院をホスピタルと言いますが、このホスピタルの語源は中世ラテン語のホスピターレであり、ホテルと同一語源と言われています。そして、ホスピターレとはローマ時代「巡礼、参拝者、旅人をもてなす大きな家」であり、旅に出るとここに宿泊し、旅で受けた傷や病をホスピターレのもてなしで治して、心身共にリフレッシュし、また新しい旅に出ました。現在の病院の考え方も、何ら変わらないことだと思います。

現在の医療は、チーム医療の重要性が言われています。チームとは、共通の目的に向かい、他人の意見に耳を傾け、建設的に反応することだと思います。

病める方々の、新しい旅立ち（社会復帰）に向け、より良い医療を提供できるように、患者さんや職員間でも思いやりを持ち、やりがいの有る職場にしていきたいと思っています。

